

令和2年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～					
	施策	01 協働 –市民が主役の地域の輪づくりを推進します–					
重点プロジェクト		”オールふじみ野”まちづくりプロジェクト 美しくにぎわいのあるまちプロジェクト					
主管課	市民活動推進部 協働推進課	評価責任者				本橋 直人	
		評価日				令和3年5月27日	
関連課	全庁各課						
目標	市内で活躍する市民活動団体の主体性を尊重した支援と、大学や企業等との連携を図り、多世代にわたる市民に対し、相互交流や地域での実践につながる場を提供し、協働のまちづくりへの意識の醸成と人材の育成を推進します。また、自治組織などの活動を支える仕組みの充実を図ります。						
施策目標の実現に向けた取組	(1) 協働のまちづくりの推進 ○市民活動団体や関係機関等と連携を図り、協働のまちづくりへの意識が醸成されるよう、市民の学びの場づくり及び意識啓発と人材育成に取り組みます。 ○協働のまちづくりという視点に立つ行政運営を進めます。 (2) 地縁活動や市民活動の支援 ○自治組織や市民活動団体の活動について、主体性を尊重した支援を推進します。 (3) コミュニティ施設の整備 ○自治組織やNPO法人、ボランティア団体の活動拠点となるコミュニティ施設の計画的な整備と機能の充実を図ります。						

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策目標	指標1	指標名	自治組織の加入率					
		説明	市内における自治組織の加入率（指標の数値は累計） 市民の協働によるまちづくりを推進する指標となるため。					
		単位	%					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	57.50	58.00	58.50	59.00	59.50	60.00
		実績値	54.00	51.50	49.50			
	指標2	指標名	市民活動支援センターの登録団体数					
		説明	市民の協働によるまちづくりを行う機会の創出を図る指標となるため。					
		単位	団体					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	125	130	135	140	145	150
		実績値	124	129	119			
	指標3	指標名	協働のまちづくりイベントへの参加者数					
		説明	市内における協働のまちづくりに関連するイベントの参加者数。協働によるまちづくりへの意識の醸成を図る指標となるため。（※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部の事業のみ実施。）					
		単位	人					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	1,050	1,100	1,150	1,200	1,250	1,300
		実績値	1,192	1,201	40			
	指標4	指標名						
説明								
単位								
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							
指標5	指標名							
	説明							
	単位							
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	146,787	128,659	122,421	149,508		
	人件費	48,085	57,804	60,724	60,360		
収入	特定財源	17,611	7,134	15,174	27,778		
	一般財源	177,261	179,329	167,971	182,090		

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	自治組織の活動支援と加入促進	自治組織がそれぞれの地域で行っている活動や活動拠点としての集会所の維持管理の費用について補助金を交付した。また、自治組織連合会と共に未加入世帯を対象とした加入促進を行った。	市内57の自治組織がそれぞれの地域で、住み良いまちづくりに向けて防犯・防災・環境美化・コミュニティ推進などの事業が実施された。また、加入促進については加入に繋がるなど、少しずつ効果が出ている。	自治組織活動等支援事業
取組②	市民活動展示会の開催	企画市民会議のメンバーが中心となって、市民活動交流会の代替企画として、5日間に亘り、本庁舎1階ギャラリーで市民活動展示会を開催した。(令和3年1月18日～22日)	市民活動展示会には18団体の協力をいただき、開催することができた。また、開催期間中は150人の来場者があり、展示を通して市民団体の活動紹介をすることができた。	市民活動支援センター運営事業 (一部)
取組③	プラスワン講座の開催	コロナ禍により、昨今ではZoomを使った新しい活動方法やつながり方が行われている。市民活動の継続性を保持する選択肢を増やしていただくため、Zoomの使い方講座を開催した。(令和3年3月5日)	市民活動支援センター登録団体の方を含め、18人の参加があった。また、アンケートでは、今後活用していきたいという好意的な声があった。	市民活動支援センター運営事業 (一部)
取組④	協働のまちづくりフォーラム(講演会)の開催	「Withコロナ時代の市民活動のヒント」と題して、コロナ禍でどのような活動や団体の運営ができるかの講演会を来場又はZoomによる参加方法により開催した。(令和3年3月13日)	市民活動支援センター登録団体の方を含め、会場16人・Zoom17人(計33人)の参加があり、コロナ禍での運営に活かせるヒントを提供することができた。	協働のまちづくり推進事業
取組⑤	市民大学ふじみ野の開催	地域での学びの促進と人材育成を目標に、NPOとの協働により市民大学ふじみ野において講座を開催した。	レギュラー講座13回(参加者105人)、特別公開講座1回(参加者108人)、学び合い講座4回(参加者31人)を実施した。募集定員を超える申込がある講座もあり、市民ニーズに適合した講座が実施できている。	市民大学ふじみ野運営事業

5. 評価

評価	
指標の達成状況	協働のまちづくりについては、自治基本条例の制定や協働のまちづくり推進指針の策定、包括連携協定の締結などを通して、市をあげて取り組めるような環境整備を続けてきたところである。実施している個々の事業は、その成果がすぐに現れることが難しいものが多く、市民の意識の変化や時代の流れに則した方策について、市民のニーズを汲み取りながら見直していく必要がある。
おおむね順調	
行政資源の活用	
おおむね適切	
取組の有効性	
おおむね有効	
施策の効果	
効果が得られている	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	ゆめぼると運営事業		前年度の方向性	継続
重点プロジェクト				
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～		
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー		
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 05財産管理費			
所管部課	市民生活部 市民総合窓口課	評価責任者	谷口 隆二	
事務事業期間	平成30年度～（庁舎管理等事務(支所)から分割)	評価日	令和3年6月1日	
個別計画 根拠法令・条例等	ふじみ野市立ゆめぼると条例 ふじみ野市立ゆめぼると条例施行規則			
事務事業の内容	事務事業の目的	「ゆめぼると」は大井総合支所複合施設2階のスペースを、保健センターが使用しない日時に一般貸し出しするために設けられた、市民が集い交流し活動することを目的とした施設である。夜間や休日のホール等の貸出しに際し、適正な貸出管理と良好な環境衛生の維持を行うため管理人（業務従事者）2名体制で備品の貸出・返却、使用後の清掃等を行っている（利用時のみ、時間帯ごとの単価契約）。		
	事務事業の経緯	平成25年7月大井総合支所の新庁舎開設当初から、大井総合支所の2階を「ゆめぼると」として一般に貸し出ししている。貸し出し業務に伴う施設の管理や清掃等を業務委託している。		
	事務事業の概要	「ゆめぼると」内の多目的ホール・プレイルーム・A会議室・B会議室を時間帯ごとに有料で貸し出ししており、その貸出に伴う施設の管理等を業務委託している。		
	令和2年度の主な取組	令和2年度、夜間及び休日の貸出95件（午前3件・午後38件・夜間54件）について貸室（多目的ホール等）の管理業務を委託した。業務内容：使用備品の貸出し及び取扱い説明、利用者案内及び利用者からの問い合わせ対応、貸室使用後の清掃の実施、利用報告書の受領・確認等。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.25	0.25	0.25
		人件費	1,995	2,015	2,015
	再任用職員	従事人数(人)	0.20	0.20	0.20
		人件費	769	1,061	1,061
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		2,764	3,076	3,076	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	3,671	898	2,358	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費※	0	0	0	
支出合計		6,435	3,974	5,434	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	865	321	780
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		5,570	3,653	4,654	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		49	31	41	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	ゆめぼるとの稼働率（多目的ホール）		
	説明	貸館施設である「ゆめぼると」を市民に有効活用してもらうため、改修・建替工事等を控える公民館に情報提供し稼働率の上昇を目指す。 ただし、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症防止のため、令和元年度末から継続して施設利用を休止したことにより稼働率の前年度割れが見込まれる。		
活動	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	30.00	24.00	33.00
	実績値	73.90	46.10	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>令和2年度の歳入【使用料】は321,200円、歳出【管理業務委託料】は887,549円、多目的ホールの稼働率は%であった。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う施設の利用制限により稼働率が前年度（73.9%）より大幅に減少した。実績値は令和3年3月分を含まず。 なお、本施設は、保健センターが事業で利用しない日時にしか使用できない施設のため、稼働率が保健センターの事業の増減に左右されてしまう面がある。</p> <p>※令和2年度～ 稼働率の算出方法を見直した。</p> <p>【見直し前の算出方法】 $(\text{稼働日}) \div (\text{利用可能日}) \times 100$ 単位：% *1利用可能日：保健センター事業実施日・施設点検日・年末年始等を除いた午前・午後・夜間の各時間帯における上記ホールの利用できる日数 *2稼働日：一般の各時間帯のホール利用日数（公用含む）</p> <p>【見直し後の算出方法】 $(\text{稼働日}) \div (\text{利用可能日}) \times 100$ 単位：% *1利用可能日：保健センター事業実施日・施設点検日・年末年始等を除いた日数 *2稼働日：一般の利用日数（公用含む） 時間帯別・部屋別の集計を取りやめた。</p> <p>【見直し後の稼働率（過年度分）】 平成29年度65.1% 平成30年度68.0% 令和元年度73.9%</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	人件費やそれに伴う事務費などの高騰が懸念されるなか、令和2年度以降、経費の削減を図るため「ゆめぼると管理業務委託」の仕様や契約方法などを見直し、効率的な管理運営を目指す。
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		サービスセンターホール運営事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～			
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 08支所・出張所費			
所管部課		市民生活部 市民課		評価責任者	嶋田 恵子
事務事業期間		平成18年度～		評価日	令和3年4月1日
個別計画 根拠法令・条例等					
事務事業の内容	事務事業の目的	市民の多種多様な活動を通して、市民相互の交流と地域社会の活性化を促進するため開設されたサービスセンターホールが安全・快適に利用できるよう、運営管理を行う。			
	事務事業の経緯	平成18年5月、上福岡駅再開発事業によってココネ上福岡の2階にサービスセンターとして、多目的ホール及び会議室の貸館が開設された。駅前という好立地で利用目的を制限しない貸館であるため、現在ではコーラスサークル、コンサート、展示会、企業の研修など、市内・市外を問わず幅広く利用されている。			
	事務事業の概要	多目的ホール及び会議室を有料施設として広く一般に貸出しする。また、ホール・会議室内の設備・備品の保守、管理を行う。			
	令和2年度の主な取組	以前からの懸念事項であった破損したステージ4台について、設置・移動時等の取扱いが破損の原因であること、また、法令等に沿った使い方であることを明確化するため、ステージを修繕の上、ホール内に固定し常設のステージとした。 また、コロナウイルスによる緊急事態宣言が発令されたことにより閉館した期間があったが、解除後も感染拡大防止対策のため、利用者へのマスク着用、消毒、換気を義務化し、さらに利用後の消毒、換気も徹底するなど、ホール利用者から感染者を出さないよう努めた。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.60	0.50	0.60
		人件費	4,787	4,029	4,835
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.30	0.00
		人件費	0	1,591	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		4,787	5,620	4,835	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	208	295	583	
	委託料	1,129	1,587	1,418	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	13	424	589		
支出合計		6,137	7,925	7,425	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	1,381	1,894	2,490
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		4,756	6,031	4,935	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		42	52	43	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	利用率について		
	説明	コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が発令されたことにより、4月、5月に閉館し、さらに2回目の緊急事態宣言により1月からは夜間利用の停止を行った。また、利用者からの自主的な利用取消もあった影響により、利用率は前年度を下回っている。		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	49	49	45
	実績値	45	42	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	【事業実施内容】
	<p>①サービスセンターホール・会議室管理・貸出 ホール・会議室の予約受付、使用料の徴収、貸出管理、清掃管理に関すること。</p> <p>②備品管理 ホール・会議室内のAV機器、マイク、プロジェクター、ピアノ、机、椅子など備品の取扱い、保守、修繕に関すること。</p>
	【効果】
	<p>利用者からは、駅前で利便性があり、利用目的に規制がないため気軽に借りることができると好評を得ており、サークル活動、自治組織の集まりや会社の内部会議、健康診断等まで幅広く利用されている。令和2年度は、緊急事態宣言により閉館や一部制限付きの利用による利用取消が相次ぎ、使用料の還付を余儀なくされたため、償還金が不足し予備費充分で還付した。</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	上福岡駅前で利便性が良く、利用目的を規制しない施設として評価を得ており、市民や市外からも幅広い利用がある。また、これまで一つに集約されていた利用案内(リーフレット)について、サービスセンターホールの利用案内を別途、作成するなど利用者にわかりやすい施設運営に努めた。今後は、経年劣化に伴う備品等の故障が目立ってきていることから、修繕を計画的に実施していく必要があることから、当該事業を継続する。
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		コミュニティ活動推進事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～			
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 10コミュニティ活動促進費			
所管部課		市民活動推進部 協働推進課		評価責任者	村田 頼信
事務事業期間		昭和57年度～		評価日	令和3年4月1日
個別計画 根拠法令・条例等		ふじみ野市補助金等交付規則、ふじみ野市コミュニティづくり推進連絡会補助金交付要綱、ふじみ野市花いっぱい運動推進事業補助金交付要綱			
事務事業の内容	事務事業の目的	時代にふさわしいコミュニティづくりを通して、地域コミュニティの醸成に寄与し、自治と連帯に支えられた心の触れ合う住み良い地域社会をつくることを目的とする。			
	事務事業の経緯	本事業は、コミュニティの形成による住みよい地域社会の実現を目指す市民生活の根幹となる施策であり、旧市町でそれぞれ実施してきた経緯を受け継ぎ、現在に至っている。			
	事務事業の概要	①ふじみ野市コミュニティづくり推進連絡会への補助金交付事務及び活動支援 ②ふじみ野市花いっぱい運動推進委員会への補助金交付事務及び活動支援 ③コミュニティ助成金交付事務 ④福岡河岸まつり実行委員会への活動支援 ⑤部及び課の庶務全般			
	令和2年度の主な取組	①ふじみ野市コミュニティづくり推進連絡会への補助金交付事務及び活動支援 ②ふじみ野市花いっぱい運動推進委員会への補助金交付事務及び活動支援 ③コミュニティ助成金交付事務 ④福岡河岸まつり実行委員会への活動支援（新型コロナウイルス感染症の影響により中止） ⑤部及び課の庶務全般			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.80	0.55	0.00
		人件費	6,383	4,432	0
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		6,383	4,432	0	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	322	303	0	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	177	148	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	2,750	3,450	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	8	15	0		
支出合計		9,640	8,347	0	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	2,500	3,200	0
一般財源		7,140	5,147	0	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		62	44	0	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	コミュニティづくり推進連絡会の実施事業の回数		
	説明	住みよい地域社会づくりに向けての手段として、時代にふさわしいコミュニティづくりを研究する当該連絡会の事業開催を支援する。 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一部の事業のみ実施。		
活動	単位	回		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	8	8	0
	実績値	7	2	
指標 2	指標名	花いっぱい運動コンクールに参加している団体の数		
	説明	花いっぱい運動推進委員会の主要事業である花いっぱい運動コンクールの参加団体数を活動指標とする。		
活動	単位	団体		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	30	30	30
	実績値	25	23	
指標 3	指標名	コミュニティづくり推進連絡会の実施事業への参加者数		
	説明	実施事業の参加者数の維持・増加を図ることで、コミュニティ活動の推進に繋げる。 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一部の事業に限り役員のみで実施したため、参加者はなし。		
成果	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	1,300	1,300	0
	実績値	1,081	0	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【コミュニティづくり推進連絡会】</p> <p>○活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期総会 ・おおい祭りへの参加(模擬店出店) ・上福岡七夕まつりへの竹飾り出展 ・チビッコ広場 ・環境美化活動 ・花栽培講座 ・講演会(防犯講座) ・会報(コミ推連だより) 	<p>新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止</p> <p>市役所本庁舎前プランターの花植え</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止</p> <p>No.14最終号の発行</p>
	<p>【花いっぱい運動】</p> <p>○活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期総会 ・花いっぱい運動コンクール (参加団体) 小学校の部 8校/中学校の部 6校/一般の部 9団体 (現地審査) 小・中学校の部 10月21日(水)/一般の部 10月22日(木) (表彰式) 11月5日(木) ・花風景写真コンテスト (応募数) 7件 (表彰式) 11月5日(木) 	
	<p>【コミュニティ助成金交付事務】</p> <p>一般財団法人自治総合センターの財源により上福岡四丁目町内会とみほの町会へ助成金を交付した。</p>	

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
統合	「コミュニティ活動推進事業」については、「協働のまちづくり推進事業」と統合するが、今後においても多くの市民の目に触れるような周知を行い、引き続きさまざまな事業を展開することでコミュニティづくり醸成の支援をしていく。
中長期的方向性	
統合	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		協働のまちづくり推進事業	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト		“オールふじみ野”まちづくりプロジェクト		
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～		
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー		
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 10コミュニティ活動促進費		
所管部課		市民活動推進部 協働推進課	評価責任者	村田 頼信
事務事業期間		平成21年度～	評価日	令和3年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		地方自治法、ふじみ野市自治基本条例		
事務事業の内容	事務事業の目的	地方分権時代を迎え、自己決定・自己責任の原則に基づく地域経営を行っていくために、市民・市議会・市による協働の仕組みづくりを推進するとともに、事業の実施を通して、協働のまちづくりを進める上で重要となる市民の自治力の向上とその啓発を行い、もって地域振興に資することを目的とする。		
	事務事業の経緯	本事業は、まちづくりの基本となる市民の市政への参加と協働によるまちづくりの推進を図るため、平成21年度にスタートした。その前年には、文京学院大学との包括連携協定を締結するなど、産学官連携のまちづくりを推進するとともに、市民との協働によるまちづくりを目指した事業を展開しているものである。		
	事務事業の概要	自治の基本を定めた本市の自治基本条例が理念とする「参加と協働」を具体的に推進していくため、「協働のまちづくり推進隊」との協議、講演会等の開催により、協働の在り方を研究していく。		
	令和2年度の主な取組	①協働のまちづくり推進隊との協議（意見交換） ②協働のまちづくりフォーラム（協働のまちづくり講演会）の開催 ③包括連携協定先との事業の実施		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.70	0.34	1.50
		人件費	5,585	2,740	12,086
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		5,585	2,740	12,086	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	35	2	352	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	236	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	4,100	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	120	62	159		
支出合計		5,740	2,804	16,933	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	4,000
一般財源		5,740	2,804	12,933	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		50	24	113	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	協働のまちづくりフォーラムの回数		
	説明	協働のまちづくりフォーラムの実施による体現化をもって、本事業の目的実現への活動指標とする。		
活動	単位	回		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	1	1	1
	実績値	1	1	
指標 2	指標名	協働のまちづくりフォーラムへの参加人数		
	説明	事業目的に対する市民の関心度や事業効果を反映するものとして、参加人数を成果指標とする。		
成果	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	65	65	65
	実績値	51	33	
指標 3	指標名	協働のまちづくりイベントへの参加者数		
	説明	協働によるまちづくりへの意識の醸成を図る指標として、市内における協働のまちづくりに関連するイベントの参加者数を指標とする。(令和2年度開催実績：協働のまちづくり講演会参加人数33人、協働のまちづくり推進隊会議出席者数7人 令和2年度事業中止：おい祭り、上福岡七夕まつり、チビッコ広場、コミ推連講演会、花栽培講座)		
成果	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	1,100	1,150	1,200
	実績値	1,201	40	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	【実施内容】
	<p>(1) 協働のまちづくり推進隊との協議（意見交換） 市との協働事業経験者、公募者から成る「協働のまちづくり推進隊」と協議（意見交換）を行った。 《内容》市民と市との協働事業に関する調査結果について</p> <p>(2) まちづくりフォーラムの開催 《テーマ》「Withコロナ時代の市民活動のヒント」 《日時》令和3年3月13日（土）午後1時～午後2時30分 《場所》ふじみ野市役所本庁舎 5階 A大会議室 《講師》宮本 諭 氏（NPO法人 CRファクトリー） 《参加者数》会場：16人 Zoom：17人 計33人</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	まちづくりフォーラムの充実 協働のまちづくりの推進を図るため、より多くの市民にまちづくりフォーラムの開催などを通して意識の向上を図る必要がある。その方策の一つとして、引き続き関心の高いテーマを選考し、フォーラムの参加者数の増及び内容の充実を図るものである。
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	自治組織活動等支援事業		前年度の方向性	継続
重点プロジェクト	"オールふじみ野"まちづくりプロジェクト			
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～		
	施策	01 協働 ―市民が主役の地域の輪づくりを推進します―		
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 10コミュニティ活動促進費			
所管部課	市民活動推進部 協働推進課	評価責任者	村田 頼信	
事務事業期間	平成17年度～	評価日	令和3年6月1日	
個別計画 根拠法令・条例等	ふじみ野市自治組織の設置及び振興等に関する規則、ふじみ野市自治組織連合会補助金交付要綱、ふじみ野市自治組織運営等活動費補助金交付要綱 他			
事務事業の内容	事務事業の目的	・市内の自治組織が相互に連携し、地域の活性化と生活環境の改善を図り、もって地域社会の福祉の向上と住民自治の確立に寄与することを目的とする。 ・自治組織に補助金を交付することにより自治組織活動を支援し、住民自治の推進及び豊かな地域社会づくりを構築することを目的とする。		
	事務事業の経緯	本事業は、標記の目的を達成するため、平成17年度から現在に至るまで継続して実施している。開始当初から平成18年度までは各自治組織に「報償金」として支給していた。平成18年度の補助金見直し方針に則り、公益性・明確性を確保し、市と自治組織の対等な関係を維持するため、平成19年度以降は「補助金」として支出している。		
	事務事業の概要	以下に代表される事業活動を補助する。 【自治組織運営費補助、事業費補助及び集会施設維持管理費補助】 ①自治組織の運営費及び自治組織の事業費（加入促進事業含む）②自治組織集会施設の維持管理費 ③自治組織集会施設の建設費等 【ふじみ野市自治組織連合会補助】 ①自治組織相互の連絡調整と親睦を図ること②市及び関係機関との連絡調整に関すること③市及び関係機関に対する提言等に関すること		
	令和2年度の主な取組	①自治組織の運営費、事業費等への補助 （令和2年度から加入促進事業を追加、令和2年度に限り新型コロナウイルス感染症対策事業を追加） ②自治組織の集会施設維持管理費への補助（自治組織所有のLED防犯灯の電気料補助含む） ③自治組織集会施設用地等賃借料等への補助 ④ふじみ野市自治組織連合会への補助 ⑤ふじみ野市自治組織集会施設審議会		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.70	1.65	0.70
		人件費	5,585	13,295	5,640
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
	人件費計	5,585	13,295	5,640	
事業費	報酬※	0	71	166	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	357	1,038	1,179	
	委託料	113	0	143	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	32,696	33,955	38,942	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	80	149	115		
	支出合計	38,831	48,508	46,185	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	5,029	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	17	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	1,164	2,360
		その他	0	19	21
	一般財源	38,814	42,296	43,804	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		339	364	382	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	防災防犯・環境美化・コミュニティを実施している自治組織の割合		
	説明	自治組織の活動に対する補助の成果として、地縁コミュニティ活動が多方面で実施されていることを数値化する。※令和2年度から総会等の会議も事業実施の位置づけとした。 (57組織/57組織)		
活動	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	100.00	100.00	100.00
	実績値	98.20	100.00	
指標 2	指標名	自治組織の加入率		
	説明	市民の協働によるまちづくりを推進する指標として、市内における自治組織の加入率を指標とする。 (指標の数値は累計)		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	58.00	58.50	59.00
	実績値	51.50	49.50	
指標 3	指標名	ふじみ野市自治組織連合会への自治組織の加入率		
	説明	ふじみ野市自治組織連合会の効率的かつ円滑な活動には、市内の全自治組織の加入が前提条件であるため、各自治組織の自治組織連合会への加入率を指標とする。		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	100	100	100
	実績値	100	100	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	【事業内容】
	<p>(1) 各自治組織の活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ①自治組織補助金（運営費・事業費・集会施設維持管理費） 30,887,541円 ②集会施設修繕費補助金（6団体）999,053円 ③自治組織連合会補助金 400,000円 ④自治組織集会施設賃貸借料補助金（埴自治会） 408,000円 ⑤自治組織集会施設建設費等補助金（埴自治会） 1,495,090円 <p>(2) 自治組織加入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①市報（特集）及び市ホームページに加入促進のための記事を掲載（11月）。 ②事業費補助金の対象事業に「加入促進事業」「新型コロナウイルス感染症感染予防対策事業（令和2年度のみ）」を追加。 ③11月を「加入促進月間」と定め、自治組織連合会及び各自治組織と共に、未加入世帯への加入促進チラシを配付。 ④加入促進パンフレットを全戸配付（11月）及び転入世帯に配付（随時）。 ⑤自治組織加入促進のぼり旗を作成し、各自治組織に配付。 <p>(3) ふじみ野市自治組織集会施設審議会</p> <p>自治組織の集会施設に関する調査及び審議をするため、審議会を設置。 諮問内容…自治組織の活動拠点として使用している集会施設の管理・運営方法の方針案について ⇒令和4年度答申予定</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	自治組織は市内全域を網羅する団体である。平時及び非常時においても地域住民のために力を注ぐ、地域活動の根幹を成す団体でもある。その団体の活動を支援することで、より活力に満ちた地域を築くことが期待できる。
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		市民活動支援センター運営事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト		"オールふじみ野"まちづくりプロジェクト			
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～			
	施策	01 協働 ―市民が主役の地域の輪づくりを推進します―			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 10コミュニティ活動促進費			
所管部課		市民活動推進部 協働推進課		評価責任者	村田 頼信
事務事業期間		平成18年度～		評価日	令和3年4月1日
個別計画 根拠法令・条例等		ふじみ野市立市民活動支援センター条例、ふじみ野市立市民活動支援センター条例施行規則			
事務事業の内容	事務事業の目的	市民の自主的で営利を目的としない社会に貢献する活動を支援することを目的とした施設の管理運営を行い、市民活動体制の相談及び支援体制を構築する。			
	事務事業の経緯	市内で活動する市民活動団体やNPOを支援し、将来的にはまちづくりの担い手になる団体への活動支援、情報の交換・提供を図ることができる市民活動の拠点を設置する必要があったため、平成18年5月に開所した。			
	事務事業の概要	コーディネーターによる市民活動に関する相談や情報提供、活動に資する講座の開催のほか、地域課題の解決に結び付けていくための団体育成を行う。市民の企画により団体同士の交流の場を設け、地域力の向上を図る。			
	令和2年度の主な取組	①市民活動への支援 市民活動の更なる活性化に向けて、コーディネーターによる市民活動に関する相談・支援や市民活動に関する情報収集・提供を行った。 ②研修講座の開催 市民活動団体をサポートするため、研修講座（プラスワン講座）を開催した。 ③市民活動展示会の開催 例年開催している市民活動交流会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。 代わりに、市民団体の活動紹介の場として、本庁舎1F展示ホールで市民活動展示会を開催した。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.75	0.47	0.75
		人件費	5,984	3,787	6,043
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	1.25	1.48
	人件費	0	3,762	4,990	
人件費計		5,984	7,549	11,033	
事業費	報酬※	3,120	2,853	3,511	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	259	214	278	
	委託料	2,729	2,798	3,219	
	使用料及び賃借料	139	1,651	240	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	24	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費※	194	1,131	1,717	
支出合計		12,424	12,433	15,032	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	28	6	62
一般財源		12,396	12,427	14,970	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		108	107	131	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	市民活動支援センターの登録団体数		
	説明	市民の協働によるまちづくりを行う機会創出を図るため、登録団体数を活動指標とする。 ※平成18年度から事業実施 ※指標の数値は累計		
活動	単位	団体		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	130	135	140
	実績値	129	119	
指標 2	指標名	相談件数		
	説明	市民活動団体や個人から、活動内容や運営方法などの相談を受けた件数を活動指標とする。		
活動	単位	件		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	300	300	300
	実績値	156	179	
指標 3	指標名	市民活動交流会の参加人数		
	説明	市民活動団体同士やこれから市民活動を始めたい個人の交流の機会を提供する場である市民活動交流会への参加者数を成果目標とする。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から、市民の安全・安心を第一に考え、市民活動交流会を中止して市民活動展示会を開催した（実績値は、市民活動展示会の来場者数）。		
成果	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	800	900	900
	実績値	859	150	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>①市民活動展示会2021</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時、場所：令和3年1月18日(月)正午～1月22日(金)午後3時 市役所本庁舎1階ギャラリー ・企画運営：市民活動展示会実行委員会及び市民活動支援センター ・催事内容：市民団体の活動紹介展示及び市民活動支援センターの登録団体紹介展示 ・内容：市民活動団体の紹介と市民活動団体の輪が広がることを目的に開催した。 ・来場者数：150名 <p>②市民活動団体サポート「プラスワン講座」</p> <p>市民活動団体の活動をサポートする研修事業で、例年3回企画していたが新型コロナウイルス感染症の影響により今年度は1回のみ企画となった。</p> <p>○プラスワン講座～Zoomの使い方を学びませんか～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時、場所：令和3年3月5日(金)午後2時～午後3時40分 市役所本庁舎5階A大・501・502会議室 ・内容：「Zoomの使い方を学びませんか」をテーマとして、新たなコミュニケーションツールのZoomの使い方を学ぶことで、コロナ禍の中でも新しい活動方法を考える講座を実施した(参加者数：18名)。
--------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響がある中、市民活動展示会に参加された団体、来場された方のアンケートから、市民団体の活動意欲が見受けられた。 プラスワン講座も満席となるなど、Zoomへの高い関心も見られた。 引き続き、市民活動支援センターから各種イベントの企画、情報発信を行うとともに、市民活動支援センターの効率的な運営を進めながら、市民団体の活性化に向けた支援を行っていく。
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		おい祭り事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト		美しくにぎわいのあるまちプロジェクト			
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～			
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 10コミュニティ活動促進費			
所管部課		市民活動推進部 協働推進課		評価責任者	村田 頼信
事務事業期間		平成13年～		評価日	令和3年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		おい祭り補助金交付要綱、ふじみ野市補助金等交付規則			
事務事業の内容	事務事業の目的	本祭りは、市民、特に将来を担う子どもたちのふるさと意識の醸成を図るとともに、市民融和を目的に実施している。			
	事務事業の経緯	旧大井町においては、各地域で祭りが開催されていたが、町全体をあげての祭りはなかったため、標記の目的を達成するために地域の祭りを一堂に会し、総合的なふるさとの祭りをつくろうと開催したことに始まり、その後、実行委員会方式により実施され、現在に至っている。			
	事務事業の概要	おい祭りの開催に向けた準備として、実行委員会の事務局を市(協働推進課)が担当するとともに、祭りの開催に要する費用の一部を補助している。			
	令和2年度の主な取組	おい祭りの開催にあたり、実行委員会の事務局を市(協働推進課)が担当した。 また、祭りの開催に要する費用の一部を補助した。 (おい祭りは、新型コロナウイルス感染症の影響により中止※会議、部会のみ開催)			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.85	0.81	0.85
		人件費	6,782	6,527	6,849
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		6,782	6,527	6,849	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	5,000	242	8,600	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	0	0	0		
支出合計		11,782	6,769	15,449	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		11,782	6,769	15,449	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		103	58	135	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	祭りの開催		
	説明	市民のコミュニティの場となるため、開催を活動指標とする。 ⇒令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
活動	単位	回		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	1	1	1
	実績値	1	0	
指標 2	指標名	広報活動の回数		
	説明	市全体に開催を周知する機会提供として、広報活動を指標とする。 ⇒令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
活動	単位	回		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	25	20	20
	実績値	20	0	
指標 3	指標名	来場者数		
	説明	周知・広報活動の結果として、来場者数を指標とする。 ⇒令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
成果	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	75,000	75,000	75,000
	実績値	72,000	0	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、おおい祭り自体が中止となった。しかし、開催に向けて以下の会議を実施した。																	
	<table border="0"> <tr><td>総会</td><td>3回</td></tr> <tr><td>役員会</td><td>3回</td></tr> <tr><td>全体会議</td><td>2回</td></tr> <tr><td>運営委員会</td><td>1回</td></tr> <tr><td>総務・保安・設営部会</td><td>開催なし</td></tr> <tr><td>ステージ部会</td><td>3回</td></tr> <tr><td>ストリート部会</td><td>3回</td></tr> <tr><td>模擬店部会</td><td>2回</td></tr> <tr><td>子ども・青年部会</td><td>1回</td></tr> </table> <p>その他：会計監査を令和3年1月8日に実施</p> <p>協賛金・チラシ広告募集 おおい祭り自体が中止となったため、募集なし</p>	総会	3回	役員会	3回	全体会議	2回	運営委員会	1回	総務・保安・設営部会	開催なし	ステージ部会	3回	ストリート部会	3回	模擬店部会	2回	子ども・青年部会
総会	3回																	
役員会	3回																	
全体会議	2回																	
運営委員会	1回																	
総務・保安・設営部会	開催なし																	
ステージ部会	3回																	
ストリート部会	3回																	
模擬店部会	2回																	
子ども・青年部会	1回																	

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	引き続き、安全・安心に来場者が楽しめる祭り運営を補助し、市民のふるさと意識やコミュニティの醸成を図る。
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		旭ふれあいセンター管理運営事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～			
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 11コミュニティ施設費			
所管部課		市民活動推進部 協働推進課		評価責任者	村田 頼信
事務事業期間		平成6年度～		評価日	令和3年4月1日
個別計画 根拠法令・条例等		ふじみ野市立旭ふれあいセンター条例、ふじみ野市立旭ふれあいセンター条例施行規則			
事務事業の内容	事務事業の目的	市民相互の交流を図り、住みよい地域社会づくりを進めることを目的とする。			
	事務事業の経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・平成6年7月に開館。 ・平成24年度から指定管理者制度を導入し、公益社団法人人間東部シルバー人材センターによる施設管理が行われている。 			
	事務事業の概要	指定管理者による施設の維持管理及び運営 事業内容 ①会議室等の貸出し業務 ②施設の利用促進活動 ③施設の維持管理			
	令和2年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末モニタリング、中間モニタリング及び月次報告に対するモニタリングを行い、提案事項の進捗確認や、収支状況の確認を行い、事業の軌道修正を行った。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止策として、館内清掃及び消毒を徹底し、利用者の体温管理のため入口に据置型非接触式体温計を設置した。 			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.35	0.33	0.42
		人件費	2,793	2,659	3,384
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.07	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		2,793	2,659	3,384	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	5,813	7,153	7,318	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	4	4	4		
支出合計		8,610	9,816	10,706	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	2	2	2
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		8,608	9,814	10,704	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		75	84	93	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	年間開館日数		
	説明	条例に基づき、安全で適正に施設を開館した日数を活動指標として設定した。		
活動	単位	日		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	309	308	308
	実績値	272	254	
指標 2	指標名	年間利用人数		
	説明	市民活動に関する交流及び連携の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指標として、年間利用人数を成果として捉える。令和3年度目標値については、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、施設の利用制限を適用しているため、15,000人から8,000人に下方修正する。		
成果	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	15,000	15,000	15,000
	実績値	8,737	5,477	
指標 3	指標名	年間施設稼働率		
	説明	市民活動に関する交流及び連携の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指標として、年間施設稼働率を成果として捉える。		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	55.00	55.00	55.00
	実績値	41.60	33.50	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【実施内容】</p> <p>◎指定管理者 公益社団法人人間東部シルバー人材センター（令和2年度～令和6年度） 月次報告では、施設の利用状況の報告を受けた。中間及び年度末モニタリングでは、施設の維持管理状況や自主事業の進捗並びに収支状況の確認を行い、現地指導と共に管理評価を実施した。</p> <p>◎新型コロナウイルス感染拡大防止に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年3月4日から全面休館をしていたが、令和2年4月7日発令の緊急事態宣言を踏まえ、休館期間を同年5月31日までとした。 令和2年6月1日以降は人数制限及び利用制限を設けて利用を再開した。 令和3年1月7日発令の緊急事態宣言を踏まえ、令和3年1月9日より夜間休館とした。 指定管理者と連絡を密に取り、清掃や入館時の体温測定等のウイルス感染防止対策の徹底を図り、利用者が安心して利用できる環境づくりに努めた。 <p>◎自主事業(回数、参加人数) 旭ふれあい卓球広場(10月から毎月第1,3土曜日、延べ16人)、カラオケ教室(1回、24人)</p> <p>◎施設修繕・改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 市実施 なし 指定管理者 多目的トイレ水漏れ修繕、研修室天井可動式アルミ枠固定修繕、研修室窓網戸設置修繕、旧商工会館消防設備指摘箇所改善修繕
	<p>【効果】</p> <p>利用者が安全に施設利用ができ、市民のコミュニティ活動促進の一助になったと考えられる。</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	建築から26年が経過し、経年劣化による不具合や時代のニーズに合わない設備が散見される。計画的な設備修繕を実施するとともに、関連部署と連携し今後の施設の運用について検討を必要がある。また、施設利用率が低下傾向にあるため、施設の認知度を図り、利用率及び稼働率の向上に努める。
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		鶴ヶ岡コミュニティセンター管理運営事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～			
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 11コミュニティ施設費			
所管部課		市民活動推進部 協働推進課		評価責任者	村田 頼信
事務事業期間		平成20年度～		評価日	令和3年4月1日
個別計画 根拠法令・条例等		ふじみ野市立鶴ヶ岡複合施設条例、ふじみ野市立鶴ヶ岡複合施設条例施行規則、ふじみ野市立鶴ヶ岡コミュニティセンター及びふじみ野市立大井中央公民館鶴ヶ岡分館の区分並びに管理に関する規則			
事務事業の内容	事務事業の目的	市民相互の交流を図ることにより、住みよい地域社会づくりを推進し、もって福祉の増進と文化の向上に寄与することを目的とする。			
	事務事業の経緯	・平成20年5月に開館。 ・設置当初から指定管理者制度を導入し、公益社団法人人間東部シルバー人材センターによる施設管理が行われている。			
	事務事業の概要	指定管理者による施設の維持管理及び運営 ①研修室等の貸出業務 ②施設の利用促進活動 ③施設の維持管理（複合施設としての建物の維持管理（鶴ヶ岡分館）も含む）			
	令和2年度の主な取組	・年度末モニタリング、中間モニタリング及び月次報告に対するモニタリングを行い、提案事項の進捗確認や、収支状況の確認を行い、事業の軌道修正を行った。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止策として、館内清掃及び消毒を徹底し、利用者の体温管理のため入口に据置型非接触式体温計を設置した。 ・公共施設予約システムの抽選予約を令和3年度から開始するため準備を進めた。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.35	0.33	0.38
		人件費	2,793	2,659	3,062
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.07	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		2,793	2,659	3,062	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	14,057	15,418	15,826	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	6	6	7		
支出合計		16,856	18,083	18,895	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	96	3	6
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	76	0	0
一般財源		16,684	18,080	18,889	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		146	156	165	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	年間開館日数		
	説明	施設設置条例に基づき、安全で適正に施設を開館した日数を活動指標として設定した。		
活動	単位	日		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	309	308	308
	実績値	282	254	
指標 2	指標名	年間利用人数		
	説明	安全かつ快適なコミュニティ活動の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指標として、年間利用人数を成果として捉える。令和3年度目標値については、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、施設の利用制限を適用しているため、28,000人から18,000人に下方修正する。		
成果	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	28,000	28,000	28,000
	実績値	23,243	12,217	
指標 3	指標名	年間施設稼働率		
	説明	安全かつ快適なコミュニティ活動の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指標として、年間施設稼働率を成果として捉える。		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	70.00	70.00	70.00
	実績値	65.80	48.90	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	【実施内容】
	<p>◎指定管理者 公益社団法人人間東部シルバー人材センター（令和2年度～令和6年度） 月次報告では、施設の利用状況の報告を受けた。中間及び年度末モニタリングでは、施設の維持管理状況や自主事業の進捗並びに収支状況の確認を行い、現地指導と共に管理評価を実施した。</p> <p>◎新型コロナウイルス感染拡大防止に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年3月4日から全面休館をしていたが、令和2年4月7日発令の緊急事態宣言を踏まえ、休館期間を同年5月31日までとした。 令和2年6月1日以降は人数制限及び利用制限を設けて利用を再開した。 令和3年1月7日発令の緊急事態宣言を踏まえ、令和3年1月9日より夜間休館とした。 指定管理者と連絡を密に取り、清掃や入館時の体温測定等のウイルス感染防止対策の徹底を図り、利用者が安心して利用できる環境づくりに努めた。 <p>◎自主事業(回数、参加人数)</p> <ul style="list-style-type: none"> 鶴ヶ岡寄席(2回、57人)、歌わないカラオケ教室(5回、11人)、食の講演会(1回、16人)、囲碁将棋の会(10月から毎週木曜日に開催、延べ152人) 令和2年6月30日から同年7月8日の期間、七夕飾りを行った。周辺の保育園児、自治組織会員が参加した。 令和2年10月より飲料自動販売機を設置した。 <p>◎施設修繕・改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 市実施 なし 指定管理者 研修室入口引戸レール交換修繕、各室入口引戸制御装置装着、非常用照明灯交換修繕 <p>【効果】 利用者が安全に施設利用ができ、市民のコミュニティ活動促進の一助になったと考えられる。</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	令和2年度は指定期間5年間のうちの初年度であった。施設が竣工からの期間が浅いことから、近年まで大きな不具合は確認されていない。しかし、竣工から10年を経過し、今後は老朽化による不具合が発生する可能性があるため、日常的に施設の老朽化に目を向ける必要がある。
中長期的方向性	指定管理者の管理運営については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、積極的な運営が制限される中、感染防止策を講じながら適切に対応した。
継続	今後とも、施設の適切な管理運営及び施設利用者の満足度の向上に一層尽力していく必要がある。

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		市民交流プラザ管理運営事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～			
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 11コミュニティ施設費			
所管部課		市民活動推進部 協働推進課		評価責任者	村田 頼信
事務事業期間		平成12年度～		評価日	令和3年4月1日
個別計画 根拠法令・条例等					
事務事業の内容	事務事業の目的	市民の幅広い活動と人とのふれあいや世代間の交流などの様々な市民交流活動を通じて、活力ある地域社会づくりを進める。			
	事務事業の経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・平成12年5月に開館。 ・平成23年度から指定管理者制度を導入し、毎日興業株式会社による施設管理が行われている。 			
	事務事業の概要	指定管理者による施設の維持管理及び運営 事業内容 ①会議室等の貸出し業務 ②施設の利用促進活動 ③施設の維持管理			
	令和2年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末モニタリング、中間モニタリング及び月次報告に対するモニタリングを行い、提案事項の進捗確認や、収支状況の確認を行い、事業の軌道修正を行った。 ・施設の不具合に随時対応を行った。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止策として、ソーシャルディスタンスステッカーの貼付や飛沫防止フィルムの設置を行った。 			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.35	0.33	0.43
		人件費	2,793	2,659	3,465
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.07	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		2,793	2,659	3,465	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	966	
	委託料	34,015	35,358	35,176	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	69	70	69		
支出合計		36,877	38,086	39,676	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	259	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	306	304	305
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		36,571	37,523	39,371	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		320	323	344	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	年間開館日数		
	説明	施設設置条例に基づき、安全で適正に開館した日数を活動指標として設定（平成25年6月から祝日も開館）		
活動	単位	日		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	355	354	354
	実績値	328	296	
指標 2	指標名	年間利用人数		
	説明	安全かつ快適なコミュニティ活動の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指数として、年間利用人数を成果として捉える。令和3年度目標値については、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、施設の利用制限を適用しているため、114,000人から56,000人に下方修正する。		
成果	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	114,000	114,000	114,000
	実績値	100,304	38,335	
指標 3	指標名	年間施設稼働率		
	説明	安全かつ快適なコミュニティ活動の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指数として、年間施設稼働率を成果として捉える。令和3年度目標値については、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、施設の利用制限を適用しているため、75%から60%に下方修正する。		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	75.00	75.00	75.00
	実績値	66.60	53.70	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【実施内容】</p> <p>◎指定管理者 毎日興業株式会社（令和元年度～令和5年度） 月次報告では、施設の利用状況の報告を受けた。中間及び年度末モニタリングでは、施設の維持管理状況や自主事業の進捗並びに収支状況の確認を行い、現地指導と共に管理評価を実施した。</p> <p>◎新型コロナウイルス感染拡大防止に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年3月4日から全面休館をしていたが、令和2年4月7日発令の緊急事態宣言を踏まえ、休館期間を同年5月31日までとした。 令和2年6月1日以降は人数制限及び利用制限を設けて利用を再開した。 令和3年1月7日発令の緊急事態宣言を踏まえ、令和3年1月9日より夜間休館とした。 指定管理者と連絡を密に取り、清掃や入館時の体温測定等のウィルス感染防止対策の徹底を図り、利用者が安心して利用できる環境づくりに努めた。 <p>◎自主事業 ※数値は、コスモスホール開催分も合算 武道系（空手等）、体操系（ヨガ教室等）、語学系（英会話等）、文科系（音感トレーニング等）合計全27種の講座・教室を実施した。開講数合計：587回 延べ参加人数：4,481人</p> <p>◎施設修繕・改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 市実施：GHP4号機冷媒ガス漏れ修繕 指定管理者実施：ロビーに自主事業コーナー・ふじみグッズコーナーを設置した。エレベーター監視盤修繕、GHP1号機ファンモーター交換等の修繕を行った。 <p>【効果】 利用者が安全に施設利用ができ、市民のコミュニティ活動促進の一助になったと考えられる。</p>
------------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	令和2年度は指定期間5年間のうちの2年目であった。施設が竣工から約20年を経過することから、老朽化による設備不良が数多く散見された。特に、空調機関連の不具合が数多く確認されたことを受けて、施設の管理面で、現状における不具合の有無から、修繕の必要性あるいは優先度合について俯瞰的な視点から取り組む必要がある。
中長期的方向性	指定管理者の管理運営については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、積極的な運営が制限される中、感染防止策を講じながら適切に対応した。今後とも、施設の適切な管理運営、並びに施設利用者の満足度の向上に一層尽力していく必要がある。
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		コスモスホール管理運営事業	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～		
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー		
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 11コミュニティ施設費		
所管部課		市民活動推進部 協働推進課	評価責任者	村田 頼信
事務事業期間		平成11年度～	評価日	令和3年4月1日
個別計画 根拠法令・条例等				
事務事業の内容	事務事業の目的	市民の文化活動及び余暇活動その他の市民活動の促進を図り、市民福祉の増進に寄与する。		
	事務事業の経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・平成11年7月に開館。 ・平成23年度から指定管理者制度を導入し、毎日興業株式会社による施設管理が行われている。 		
	事務事業の概要	指定管理者による施設の維持管理及び運営 事業内容 ①多目的ホールの貸出業務 ②施設の利用促進活動 ③施設の維持管理		
	令和2年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末モニタリング、中間モニタリング及び月次報告に対するモニタリングを行い、提案事項の進捗確認や、収支状況の確認を行い、事業の軌道修正を行った。 ・平成31年に故障したGHP空調機更新設計業務を行った。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止策として、館内清掃及び消毒を徹底した。 		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.35	0.35	0.42
		人件費	2,793	2,820	3,384
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.07	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		2,793	2,820	3,384	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	2,171	3,553	2,940	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	15,400	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	0	0	0		
支出合計		4,964	6,373	21,724	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	17	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	1
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	1,320	16,095
		その他	1,035	1,053	1,053
一般財源	3,929	3,983	4,575		
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		34	34	40	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	年間開館日数		
	説明	条例に基づき、安全で適正に開館した日数を活動指標として設定した。		
活動	単位	日		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	334	334	334
	実績値	306	278	
指標 2	指標名	年間利用人数		
	説明	安全かつ快適なコミュニティ活動の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指標として、年間利用人数を成果として捉える。令和3年度目標値については、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、施設の利用制限を適用しているため、13,000人から5,000人に下方修正をする。		
成果	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	13,000	13,000	13,000
	実績値	14,386	3,814	
指標 3	指標名	年間施設稼働率		
	説明	安全かつ快適なコミュニティ活動の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指数として、年間施設稼働率を成果として捉える。令和3年度目標値については、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、施設の利用制限を適用しているため、80%から50%に下方修正をする。		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	80.00	80.00	80.00
	実績値	74.70	42.10	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	【実施内容】
	<p>◎指定管理者 毎日興業株式会社（令和元年度～令和5年度） 月次報告にて施設の利用状況の報告を受けた。中間及び年度末モニタリングでは、施設の維持管理状況や自主事業の進捗並びに収支状況の確認を行い、現地指導と共に管理評価を実施した。</p> <p>◎新型コロナウイルス感染拡大防止に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年3月4日から全面休館をしていたが、令和2年4月7日発令の緊急事態宣言を踏まえ、休館期間を同年5月31日までとした。 令和2年6月1日以降は人数制限及び利用制限を設けて利用を再開した。 令和3年1月7日発令の緊急事態宣言を踏まえ、令和3年1月9日より夜間休館とした。 指定管理者と連絡を密に取り、清掃や入館時の体温測定等のウイルス感染防止対策の徹底を図り、利用者が安心して利用できる環境づくりに努めた。 <p>◎自主事業 土曜太極拳を実施。</p> <p>◎施設修繕・改善 令和2年度にGHP更新工事設計業務を行った。令和3年度に更新工事を行う。 設計内容：GHP4台→GHP2台・EHP2台 空調機更新に併せ、照明器具をLED化し、天井の張替を行う。</p> <p>【効果】 利用者が安全に施設利用ができ、市民のコミュニティ活動促進の一助になったと考えられる。</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	令和2年度は指定期間5年間のうちの2年目であった。 空調機の入替えのため、設計業務委託業者と協議を行い、令和3年度に工事を施行する。 指定管理者の管理運営については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、積極的な運営が制限される中、感染防止策を講じながら適切に対応した。今後とも、施設の適切な管理運営及び施設利用者の満足度の向上に一層尽力していく。
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		うれし野まちづくり会館管理運営事業		前年度の方向性 縮小	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～			
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 11コミュニティ施設費			
所管部課		市民活動推進部 協働推進課		評価責任者	村田 頼信
事務事業期間		平成17年度～		評価日	令和3年4月1日
個別計画 根拠法令・条例等		地方自治法第237条、地方財政法第8条、ふじみ野市財産規則			
事務事業の内容	事務事業の目的	うれし野まちづくり会館の適正な維持管理を図る。			
	事務事業の経緯	平成21年度は、福祉部において当該会館の施設管理事業を行っていたが、平成22年度より管財課分室という位置づけになった。平成27年度からは協働推進課にて維持管理運営を行っている。			
	事務事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・会館の管理運営 ・2階部分のNPO法人等への貸付業務 ・3階部分の市民への貸出業務（集会室・和室） 			
	令和2年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・不具合箇所の修繕を実施（屋上フェンス取付部修繕、地下受水槽電極保持器腐食劣化修繕、高圧キャビネット内感知器交換修繕、高圧受電設備部品交換修繕） ・新型コロナウイルス対策感染拡大防止のため、3階の集会室及び和室の貸出を令和2年3月4日から同年8月31日まで中止とした。同年9月から制限を設けて貸出を再開した。 			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.55	0.33	0.44
		人件費	4,388	2,659	3,546
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.07	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		4,388	2,659	3,546	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	1,683	2,767	1,531	
	委託料	6,216	6,531	7,115	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	158	176	217		
支出合計		12,446	12,134	12,409	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	593	583	603
一般財源		11,853	11,551	11,806	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		104	99	103	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	年間開館日数		
	説明	安全で適正に開館した日数を活動指標として設定		
活動	単位	日		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	357	356	356
	実績値	326	202	
指標 2	指標名	年間利用人数		
	説明	活動の場を提供する施設として有効に活用されているかを図るため、年間利用人数を成果としてとらえる。令和3年度目標値については、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、施設の利用制限を適用しているため、3,500人から900人に下方修正をする。		
成果	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	3,500	3,500	3,500
	実績値	2,790	416	
指標 3	指標名	年間施設稼働率		
	説明	活動の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指数として、年間施設稼働率を成果としてとらえる。新型コロナウイルス感染拡大防止策として、施設の利用制限を適用しているため、13%から35%に修正をする。		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	13.00	13.00	13.00
	実績値	14.60	30.34	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	【実施内容】
	<p>◎3階地域開放部分の貸出：施設利用に係る受付事務を実施。 令和2年4月1日～令和2年8月31日…休館（貸出中止） 令和2年9月2日～…制限付きで貸出を再開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用率 30.34% ・利用人数 416人 <p>※令和2年9月2日以降の制限 利用可能人数に制限を設け、月・水・金の午前清掃後、次の清掃までの間に1団体のみ使用可能</p> <p>◎施設管理による休館 令和2年6月2日、令和2年9月1日、令和3年1月17日、令和3年3月2日</p> <p>◎2階NPOベースの貸出：2団体に貸出しを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人ふじみ野明るい社会づくりの会 ・NPO法人ふじみ野市学童保育の会 <p>◎修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋上フェンス取付部修繕 440,000円 ・地下受水槽電極保持器腐食劣化修繕 44,000円 ・高圧キャビネット内感知器交換修繕、高圧受電設備部品交換修繕 1,432,200円 ・誘導灯交換修繕 48,000円 <p>【効果】 利用者が安全に施設利用ができ、市民のコミュニティ活動促進の一助になったと考えられる。</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
縮小	施設竣工より20年以上が経過し、老朽化による不具合が散見されているが、適切な管理に努めていく。また、施設の利活用とともに、施設自体の在り方も検討していく。
中長期的方向性	
縮小	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		コミュニティセンター管理運営事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～			
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー			
予算費目 一般会計 02総務費 01総務管理費 11コミュニティ施設費					
所管部課		教育部 上福岡公民館		評価責任者	内田 徳子
事務事業期間		平成17年度～		評価日	令和3年4月22日
個別計画 根拠法令・条例等 ふじみ野市立コミュニティセンター条例、ふじみ野市立コミュニティセンター管理運営規則、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例					
事務事業の内容	事務事業の目的	市民相互の交流、市民の市政への参加並びに市民文化の向上と福祉の増進に寄与する。			
	事務事業の経緯	昭和54年コミュニティセンター開設以来、事務事業の目的達成のため、安全で安心して活動できる施設の維持管理・提供に努めている。			
	事務事業の概要	ふじみ野市立コミュニティセンター条例第1条に規定の施設設置目的を達成するため、施設運営と維持管理を行う。			
	令和2年度の主な取組	大規模改修に伴い当該施設が1年間休館しているため、代替施設（ふれあいプラザかみふくおか）の貸出及び他の公民館等の利用可能施設への案内を行った。また、大規模改修後に開館する「ふじみ野ステラ・イースト」の予約受付及び貸出準備をした。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.50	0.50	0.00
		人件費	3,989	4,029	0
	再任用職員	従事人数(人)	0.10	0.00	0.00
		人件費	385	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		4,374	4,029	0	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	9,211	54	0	
	委託料	1,835	0	0	
	使用料及び賃借料	207	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	94	48	0		
支出合計		15,722	4,131	0	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	89	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	146	0	0
一般財源		15,487	4,131	0	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		135	36	0	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	施設利用人数		
	説明	大規模改修工事により貸出休止中。令和3年4月から文化スポーツ振興課所管施設の「ふじみ野ステラ・イースト」として貸出再開予定。		
活動	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	22,000	0	0
	実績値	19,218	0	
指標 2	指標名	施設稼働率		
	説明	大規模改修工事により貸出休止中。令和3年4月から文化スポーツ振興課所管施設の「ふじみ野ステラ・イースト」として貸出再開予定。		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	50.00	0.00	0.00
	実績値	44.10	0.00	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>◆コミュニティセンターの概要 【定員】第1会議室 24人／第2会議室 30人／第3会議室 30人／第4会議室（和室） 30人 計114名 【施設提供】 年間を通じて各種の教室や講座、展示会を開催しているほか、サークルやグループに活動の場を提供している。 【開館時間】 午前9時～午後10時</p> <p>令和2年度 大規模改修により休館</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
完了	大規模改修が終了し、令和3年4月から文化スポーツ振興課所管施設の「ふじみ野ステラ・イースト」として貸出再開となる。
中長期的方向性	
完了	